

平成23年度 景観市民ワークショップ

第3回地区別ワークショップ開催！！

景観まちづくり
市民ワークショップ通信

第 4 号
編集・発行：伊勢原市
都市部都市総務課
平成23年10月24日

成瀬地区まち歩き

平成二十三年度景観市民ワークショップ第3回地区別ワークショップ「成瀬地区まち歩き」が九月二十八日（水）に開催されました。当日はお天気にも恵まれ、秋の日差しの中、さわやかな風を感じながら、たくさんの方々のワークショップのメンバーに加え、地元自治会の方々にも御参加いただくことができました。当日の行程は午後一時に子安神社を出発し、水神様、円光院、小金神社、永窪公園、丸山城址公園と



子安神社境内からまち歩きスタート

歩いた後、高部屋神社境内にて、意見交換などを行い、約三時間半のまち歩きを無事終えることができました。（二面に地図を掲載しています）



子安松

室町時代に生を受け、樹齢五百年もあつた松の木。残念ながら、松くい虫の被害により、昭和40年に伐採。根の部分が残っており、市の天然記念物に指定されていました。

意見交換



まち歩きの様子

まち歩き終了後、みなさんから今回のまち歩きを通じて感じた成瀬地区の景観まちづくりについて、お話を伺いましたので、紹介します。

- ◎昔から石田地区というのは、水があり、田があり、とても豊かな村であったということが、よくわかりました。
- ◎伊勢原の長い歴史と、文化があり、また美しい自然があるからこそ、私たちの生活がある。それぞれが共生していくことが、とても大切な事だと感じました。
- ◎新東名の橋脚を初めて間近に見て、景観が大きく変化するのを実感しました。
- ◎成瀬地区をゆつくりと歩くことで、たくさんの方々の発見や気づきがありました。こんなに素敵な所をもっと多くの方々と共に共有したいと思いました。
- ◎地元の人の話を聞きながら、実際に見て歩き、まちの景観を考える事で、資料や写真では体感することができない貴重な経験ができました。

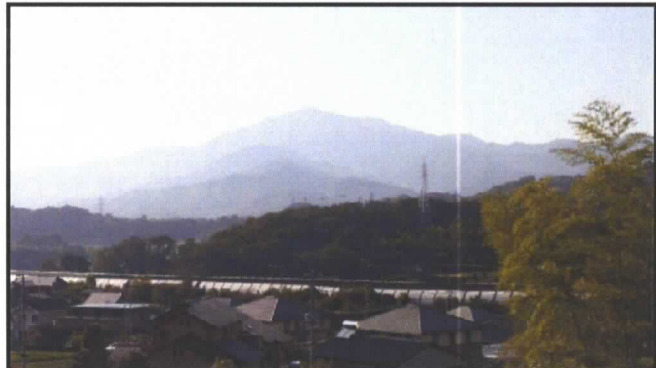
永窪公園

地域の力が

満ちている公園



永窪公園は、昭和四十九年のあかね台の宅地造成に伴い整備されたもので、夏祭りが開催されるなど、地域の人たちの交流の場となっています。また、新しい街であっても、この街に育つ子ども達に故郷を感じてほしい。そんな思いから、地元ボランティアの方々を中心に、公園北西部及び北側法面の竹林が整備されています。月に一、二回行われる竹林の整備作業は地域のコミュニティとしての役割も担っているとのこと。この場所は、伊勢原市のシンボルとも言える霊峰大山の絶好の景観ポイントとなり、北側の竹林は和を奏でる癒しの景観となっています。



永窪公園からみた大山



永窪公園竹林の遠景

水神様

子安神社から、南にしばらく歩くと、涼やかな竹林が見えてきます。小さなフェンスに囲まれた池に、水神様が祀ってありました。この湧水池は、灌漑用水・生活用水として生活を支えてきました。水神様は、こうした水・川といった水源の守り神として地域の人々に崇められてきました。以前は、野菜の洗い場として利用されるなど交流の場ともなっていたということです。現在でも水が枯れることなく、鯉や亀が泳いでいる姿をみることが出来ます。



水神様と湧水池

編集後記

今回のまちあるきでは、地域に根ざした、地域の人を守り創り出す景観がとても印象的でした。地域の活動が生かされるような景観計画づくりをめざしていきたいと思っています。

次回のまち歩きは

10月25日(火) 伊勢原南地区

です

